

## 〈資料〉小学校学習指導要領

### 第5節 生活

#### 第1 目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な社会や自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

#### 第2 各学年の目標及び内容

##### 〔第1学年及び第2学年〕

##### 1 目標

- (1) 自分と学校、家庭、近所などの人々及び公共物とのかかわりに関心をもち、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動することができるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な社会や自然を観察したり、動植物を育てたり、遊びや生活に使うものを作ったりなどして活動の楽しさを味わい、それを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。

##### 2 内容

##### 〔第1学年〕

- (1) 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、学校において楽しく遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子などについて調べ、

安全な登下校ができるようにする。

- (2) 家庭生活を支えている家族の仕事や家族の一員として自分でしなければならないことが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、健康に気を付けて生活することができるようにする。
- (3) 近所の公園などの公共施設はみんなのものであることが分かり、それを大切に利用することができるようにするとともに、身近な自然を観察し季節の変化に気づき、それに合わせて生活することができるようにする。
- (4) 土、砂などで遊んだり、草花や木の実など身近にあるもので遊びに使うものを作ったりして、みんなで遊びを工夫することができるようにする。
- (5) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらも自分たちと同じように生命をもっていることに気づき、生き物への親しみをもちそれを大切にすることができるようにする。
- (6) 入学してから自分でできるようになったことや日常生活での自分の役割が増えたことなどが分かり、意欲的に生活することができるようにする。

##### 〔第2学年〕

- (1) 自分たちの生活は近所の人や店の人など多くの人々とかかわっていることが分かり、日常生活に必要な買い物や使いをしたり、手紙や電話などで必要なことを伝えたりするとともに、人々と適切に対応することができるようにする。

- (2) 乗り物や駅などの公共物の働きやそこで働いている人々の様子が分かり、安全に気を付けてみんなで正しく利用することができるようにする。
- (3) 季節や地域の行事にかかわる活動を行い、四季の変化や地域の生活に関心をもち、また、季節や天候などによって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりすることができるようにする。
- (4) 身の回りにある自然の材料などを用いて遊びや生活に使うものを作り、みんなで遊びなどを工夫することができるようにする。
- (5) 野外の自然を観察したり、動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは自分たちと同じように成長していることに気づき、自然や生き物への親しみをもちそれらを大切にすることができるようにする。
- (6) 生まれてからの自分の生活や成長には多く

の人々の支えがあったことが分かり、それらの人々に感謝の気持ちをもち、意欲的に生活することができるようにする。

### 第3 指導計画の作成と各学年にわたる内容の取り扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 地域の社会や自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うように学習活動を工夫すること。
- (2) 自分と地域の社会や自然とのかかわりが具体的に把握できるような学習活動を行うこと。
- (3) 生活上必要な習慣や技能の指導については、社会、自然及び自分自身にかかわる学習活動の展開に即して行うようにすること。
- (4) 言語、造形などに関する指導との関連を図り、指導の効果を高めるようにすること。